

哲学と願い

**雪崩は不慮の事故ではありません。
はっきりとした理由があり、起こります。**

冬になれば、いつものように数多くの雪崩が起こり、木々をなぎ倒し、谷を埋め尽くします。しかし、この自然の営みこそが、山々を豊かな水で潤し、動植物を育み、私たちに多くの恵みを与えてくれる源でもあるのです。この素晴らしい自然のダイナミズムの舞台こそが雪山であり、私たちはそこで人生を深く謳歌することができるスポーツを昔より行ってきました。

雪崩事故の95%は人為的なものです。

このことは私たちにある勇気を与えてくれます。つまり、自然を深く知り、自分自身の行動に慎重さと賢明さがあれば、その多くは防ぐことが可能であることを示しているからです。私たちは、この問題に対して3つの方向からアプローチします。すなわち、

- 1) 雪崩の仕組みを知ること
- 2) 人がいかに雪崩に関わっているのかを知ること
- 3) 雪の情報

です。研究者や実践者によって明らかになってきた雪崩についての知識を身に付けること。それは、算数の答を得るような作業ではありません。多様な表情を見せる自然の見方を学ぶということです。そして、過去の事故事例は、人的要因が雪崩誘発にいかに関わっているかを教えてください。

JANを通して、雪山を舞台にしたスポーツを楽しむ人々が“雪崩文化”の一員になっていくこと、つまり、雪崩の言葉を話し、積雪の変化、吹雪、深雪、強風、さまざまな弱層、そして春の訪れとともに流れ出る雪解け水の意味するところを理解できるようになることを願っています。

「世界でも有数の雪に恵まれたこの国の人々を埋もれさせるのではなく、雪の上に立たせること」

この目標実現のため、多くの方がJANに接続し、助言、提言、協力してくださることを願っています。個人の力によって把握、解決できることは限られます。雪、雪崩という自然を中心においた円卓にさまざまな分野の方々が集まり、素晴らしい体験を分け与えてくれる雪山より、歓喜を持って帰着するための力になって頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク
出川あずさ